

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	・大泊浜徳浦線(徳浦・津久見市)などの開通により、集落間の連携・交流が促進された。
②	・(都)丸山五和線(中釣工区)の供用開始により、安全で快適な歩行空間が確保され、歩行者の通行に危険な状況が解消された。
③	・バスなび大分やバスロケおおいた、交通系ICカードの広報を行い、県民への周知を行った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(28年度事業)	事業コスト(千円)	事務事業評価		主要な施策の成果掲載頁
			総合評価	29年度の方向性	
①	道路改良事業	4,529,586	-	-	201
	(公)道路改良事業	17,000,647	-	-	200
②	街路事業	4,641,045	-	-	202
③	共生のまち整備事業	80,000	-	-	183

【VI. 施策に対する意見・提言】

<p>○土木建築委員会への市町村長要望(H28.6)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域高規格道路・大分中央幹線道路(都市計画道路庄の原佐野線)の整備促進に配慮をお願いしたい。 ・国道197号の鶴崎橋、乙津橋4車線化の早期工事着手に配慮をお願いしたい。 	<p>○大分県商工会議所連合会知事要望(H28.10)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国道197号鶴崎拡幅、並びに国道442号宗方拡幅の早期整備について
---	--

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・主要地方道中津高田線(今津)や国道212号(響峠)など、産業や生活を支える道路や県道古江丸市尾線(葛原～丸市尾)など集落間の連携・交流を支える道路整備を推進する。 ・大分都市圏をはじめとした都市部において未だ慢性的に渋滞が生じている箇所も多いことから、(都)庄の原佐野線や国道197号(鶴崎拡幅)等の整備により渋滞緩和を図る。 ・湯けむり景観を向上させる別府市鉄輪地区の国道500号の無電柱化など、快適な都市空間の形成を図る。